

ページ数 誤 → 正 と表記しております.

- p.4 上から 10 行 実用に用いられたもの → 実用化されたもの
- p.20 式 (1.2.73) の中 $\left(\frac{dv}{dt}\right) \rightarrow \left(\frac{dr}{dt}\right)$
- p.26 英語翻訳 2 行目 as it compelled → as it is compelled
- p.27 英語翻訳 1 行目 impresses → impressed
- p.28 10 行目 運動の変化率 → 運動量の変化率
- p.32 図 2.2 左 質点 1 : F_{21} , 質点 2 : F_{12} → 質点 1 : F_{12} , 質点 2 : F_{21}
- p.38 下から 4 行目 下降している → 上昇している
- p.39 式 (2.3.7) 中 $[P] \rightarrow [\Delta P]$
- p.40 最下段 1/s → rad/s
- p.43 下から 2 行目 質点が小片 → 質点が i 番目の小片
- p.48 数学ノート 2.1 より 2 行上 $g = 0$ なので → $g = 0 \text{ m/s}^2$ なので
- p.57 図 3.1 中 x 軸と y 軸の表記を入れ替える.
- p.62 図 3.2 左 $v(t) \rightarrow v_z(t)$
- p.65 例題 3.1 の 2 行目 一定の抵抗力 → 一定の力
- p.72 下から 2 行目 この運動の間, 加えた → 物体が動き出すまでは, 加えた
- p.74 最下段 水平な方向 → 平行な方向
- p.75 ステップ 1 の文章 図 3.10 に示すように, 物体には重力 mg が働きます. また, この物体には抗力 (reaction) F が働きます. 物体はすでに動いているので, 重力と抗力が釣り合う場合は等速度で, 重力が抗力よりも大きい場合は加速しながら, 抗力が重力よりも大きい場合は減速しながら滑ります.
- 同 式 (3.2.18) を削除する. そのため, 以降の式番号が繰り上がる.
- p.76 下から 4, 3 行目 それぞれ式 (3.2.24), 式 (3.2.23) → それぞれ式 (3.2.23), 式 (3.2.22)
- p.77 2 行目 式 (3.2.25) → 式 (3.2.24)
- 同 7 行目 式 (3.2.26) → 式 (3.2.25)
- 同 下から 6 行目 式 (3.2.29) や式 (3.2.31) → 式 (3.2.28) や式 (3.2.30)
- p.80 7 行目 trubulence → turbulence
- p.97 式 (3.4.20) $\sqrt{\frac{k}{m}} \rightarrow \sqrt{\frac{m}{k}}$
- p.101 9 行目 106 ページ → 107 ページ
- p.117 式 (3.5.33) 左辺 $2\omega_0 \cos(\omega_0 t) \rightarrow 2b\omega_0 \cos(\omega_0 t)$
- p.121 式左辺 $R \rightarrow Re$
- 同 下から 3 行目 すれば → すれば
- p.137 式 (4.3.12) $E_A = E_B + \sim \rightarrow E_B = E_A + \sim$
- p.209 図 7.4 中右側 偏角方向 → 方位角方向
- p.212 図 7.5 左 円錐の交点に「点」真ん中に「円」を加える. また図 7.5 右円錐の下「空集合」を加える.
- p.214 式 (7.2.39) 最初の $a^{\frac{3}{2}}$ の添え字を $\frac{3}{2} \rightarrow 3/2$

p.239 式 (8.1.13) $m_k \rightarrow m_i$

p.240 下から 6 行目 用いると, $\mathbf{r} = \mathbf{r}_G + \mathbf{r}'_i \rightarrow$ 用いると, $\mathbf{r}_i = \mathbf{r}_G + \mathbf{r}'_i$

p.244 式 (8.1.39) 右辺 $\sum_{k=i}^n \sim \rightarrow \sum_{i=1}^n \sim$

p.265 式 (9.3.21) $\sim \left[\frac{y^3}{3} \right]_{-\frac{b}{2}}^{\frac{b}{2}} \rightarrow \sim \left[\frac{y^3}{3} \right]_{-\frac{b}{2}}^{\frac{b}{2}}$

p.266 2 行目, 3 行目, 図 9.11 の名称 立方体 \rightarrow 直方体

p.270 下から 2 行目 立方体 \rightarrow 直方体

p.279 例題 9.3 の答え 1 行目 鉛直上向き \rightarrow 鉛直下向き

p.287 演習問題の略解 1.2 の (7) 0, (8) $\frac{\pi}{2}$

同 1.5 $\Delta \mathbf{r} = 4\mathbf{e}_y \sim \rightarrow \Delta \mathbf{r} = -4\mathbf{e}_y \sim$

p.288 2.2(4) $mg \rightarrow Mg$

同 2.4(1) $(1+x)^n = \sum_{k=0}^n \frac{n!}{k!(n-k)!} x^k = \sum_{b=0}^n {}_n C_k x^k \rightarrow (1+x)^n = \sum_{k=0}^n \frac{n!}{k!(n-k)!} x^k = \sum_{k=0}^n {}_n C_k x^k$

p.289 表の題名 高度約高度約 \rightarrow 高度約

同 3.4(2) $x = (A + Bt)e^{-2t} \rightarrow x = (At + Bt)e^{-2t}$

p.292 7.7(3) $v = \sqrt{\frac{2gh(m+M)}{m}} \rightarrow v = \frac{\sqrt{2gh(m+M)}}{m}$

同 9.3 $x = \frac{R}{3} \rightarrow$ 半径 R の中心から右に $\frac{R}{6}$.